

# 日本香粧品学会

## 第48回 教育セミナー プログラム

---

### 皮膚を見る・観る・診る ～最新の可視化技術レビュー～

---

#### ご挨拶

香粧品学、皮膚科学において、皮膚の表面を詳細に見て、皮膚の生理機能を正確に定量化し、外からは見ることのできない皮膚の内側を可視化して細胞や分子の動きを観察することは、新規の香粧品や外用薬の作用機序や有効性の検討、皮膚疾患治療の効果判定、そして未知の皮膚疾患の病態を解明する上で極めて重要です。

2023年度、教育セミナーのテーマは『皮膚を見る・観る・診る～最新の可視化技術レビュー』です。今回、皮膚の構造の基本を学び、皮膚生理機能の評価法、そして皮膚の可視化の最先端技術を様々な分野から7名の専門家にご講演いただきます。皮膚の正常組織や機能を新たに学びなおし、皮膚炎症における様々な細胞の動き、種々の皮膚病態における分子の動きなどを最先端の機器を用いて観る技術を紹介していただきます。

今年の教育セミナーは新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを踏まえて2019年度以来4年ぶりの現地開催となります。もちろん十分な感染対策を講じた上での開催で、久しぶりに参加者同士の交流や演者の先生方との直接の自由で活発な質疑応答が可能となります。ご参加の皆様におかれましては、ぜひ本セミナーにて最先端の皮膚可視化技術の進捗を感じていただければ幸いです。今回のセミナーから得られる多くの知見が皆様の今後の新たな香粧品や治療薬の開発に役立ちますことを祈念いたします。

学術委員長 森脇 真一

# 日本化粧品学会 第48回教育セミナー プログラム

10:25~10:30 開会挨拶 委員長 森脇 真一 (大阪医科薬科大学)

10:30~11:15 1. 見・観・診られる皮膚の構造

座長 森脇 真一 (大阪医科薬科大学)  
石河 晃 (東邦大学)

11:15~12:00 2. 実臨床における皮膚及び皮膚付属器官の非侵襲的計測方法

座長 笠井 弘子 (北里大学北里研究所病院)  
室田 浩之 (長崎大学)

12:00~12:45 3. 生体イメージングによる皮膚免疫応答の可視化

座長 奥田 逸子 (国際医療福祉大学三田病院)  
江川 形平 (京都大学)

12:45~14:00 昼食休憩

14:00~14:45 4. 生体蛍光イメージングの基礎と応用

座長 飯村 菜穂子 (新潟薬科大学)  
今村 健志 (愛媛大学)

14:45~15:30 5. 有効成分の局在を見る・観る ~イメージング質量分析~

座長 沼澤 聡 (昭和大学)  
平 修 (福島大学)

15:30~15:50 休憩

15:50~16:35 6. 分子センシングによるヒト皮膚成分のイメージング

座長 吉田 雅紀 (東京工科大学)  
江川 麻里子 (資生堂)

16:35~17:20 7. 肌の色彩と質感をとらえる

座長 柴田 貴子 (資生堂)  
五十嵐 崇訓 (花王)

17:20~17:25 閉会挨拶 副委員長 沖山 康子 (日本ロレアル)

開催日：2023年11月17日(金)

会場：東京証券会館

\*アクセスは最終ページの地図をご参照ください

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町一丁目5番8号

東京証券会館8階 (TEL. 03-3667-9210)

参加費： 会員	13,000円 (事前)	15,000円 (通常)
非会員	18,000円 (事前)	20,000円 (通常)
学生会員	1,000円 (事前)	2,000円 (通常)
学生非会員	2,000円 (事前)	3,000円 (通常)

\*賛助会員の企業に所属している方は会員価格です。

\*詳細は [HP](#) をご覧ください。

## Points of Interest!

### 見・観・診られる皮膚の構造

[石河 晃 先生]

皮膚は人体を覆う最外層でバリア機能を担うと共に、体温や水分の調節機能や免疫担当臓器としての重要な機能を持っており、生命の維持には不可欠な存在です。セミナーのイントロダクションとして皮膚の正常構造をマクロからミクロまで解説するとともにシミ、あざ、加齢による変化などについてもお話しいたします。肉眼で観察される変化はそれに対応するミクロ所見が必ず存在します。外観は内面の現れとも言えるかもしれません。

### 実臨床における皮膚及び皮膚付属器の非侵襲的計測方法

[室田 浩之 先生]

このテーマをいただき、実臨床で皮膚や皮膚付属器の何を非侵襲的に計測しているかを改めて考える機会を得え、その方法や対象は限られているという結論に至った。本講では特に皮脂や汗の分泌や機能に関して既報や知見を基にレビューを試み、自施設での、主に発汗の評価方法をご紹介します。

### 生体イメージングによる皮膚免疫応答の可視化

[江川 形平 先生]

生体イメージングを用いることで皮膚の3次元の微小構造を生きたまま観察できるとともに、タイムラプス動画を撮影し細胞の動きの経時変化を観察することができます。マウスの皮膚炎モデルにおいて、ランゲルハンス細胞、T細胞、樹状細胞といった免疫細胞がどのように動き回り、どのように皮膚免疫応答を形作るかについて紹介します。

### 生体蛍光イメージングの基礎と応用

[今村 健志 先生]

多光子励起顕微鏡から光シート顕微鏡、さらに超解像顕微鏡まで最先端の蛍光イメージング技術を駆使した、がん細胞の転移する動態イメージングから細胞増殖やEMTなどの細胞機能イメージング、生体深部脳3Dイメージングまで、さまざまな組織や疾患を対象に可視化技術を紹介させていただきます。さらに、ミトコンドリアのリアルタイムイメージングなど、これまで見えなかったものを観る楽しさを皆さまと共有したいと思います。

## Points of Interest!

### 有効成分の局在を見る・観る ～イメージング質量分析～

[平 修 先生]

「見えない物を見る」をテーマにイメージング質量分析（IMS）という技術紹介をします。見たいから科学が発達したのか、科学が発達したから見えたのか。「百聞は一見に如かず」の通り「見る」ことは、科学でも、他者へ自分の研究を伝えることができる最良のデータといってもよいのではないのでしょうか。

食品・健康を中心に IMS の研究事例を紹介します。

参考動画です→ (<https://www.youtube.com/watch?v=In3wVywOFE4>)



### 分子センシングによるヒト皮膚成分のイメージング

[江川 麻里子 先生]

皮膚には、不均一な性状ゆえの計測領域によるばらつき、構成成分が変化しやすいゆえの時間による量的・質的变化など、計測値に影響を及ぼす要因が多い。分子指紋を検出する分光法は、ヒト皮膚に適用可能な計測法の中でも、非侵襲・非ラベルで成分検出できるため、高いポテンシャルを有する。本講では、近赤外分光・ラマン分光などの分光法によるヒト皮膚、特に表皮の構成成分の分布について、我々の研究例を紹介したい。

### 肌の色彩と質感をとらえる

[五十嵐 崇訓 先生]

肌は外界との界面に位置する、いわば“見られる”必然を有する組織である。そのため、肌の外観は、化粧品をはじめ諸分野における重要な研究対象である。本講演では、肌の外観特徴を決定する因子のうち特に“色彩”と“質感”に焦点をあて、これらと関連が深い光学、画像、知覚などの観点を交えながら基礎・応用知見を紹介する。以上を通して、肌にみられる色彩・質感の特徴や、これらをとらえる多様なアプローチの一端を俯瞰する。

参加申込方法：

日本化粧品学会 第48回教育セミナー

学会ホームページ (<http://www.jcss.jp/event/seminar>) より  
事前登録

参加費支払い；郵便振替もしくはクレジット決済

※一旦払い込まれた参加費は払い戻しできません。

参加申込開始：2023年9月1日（金）予定

連絡先：

日本化粧品学会 教育セミナー事務局

〒162-0801

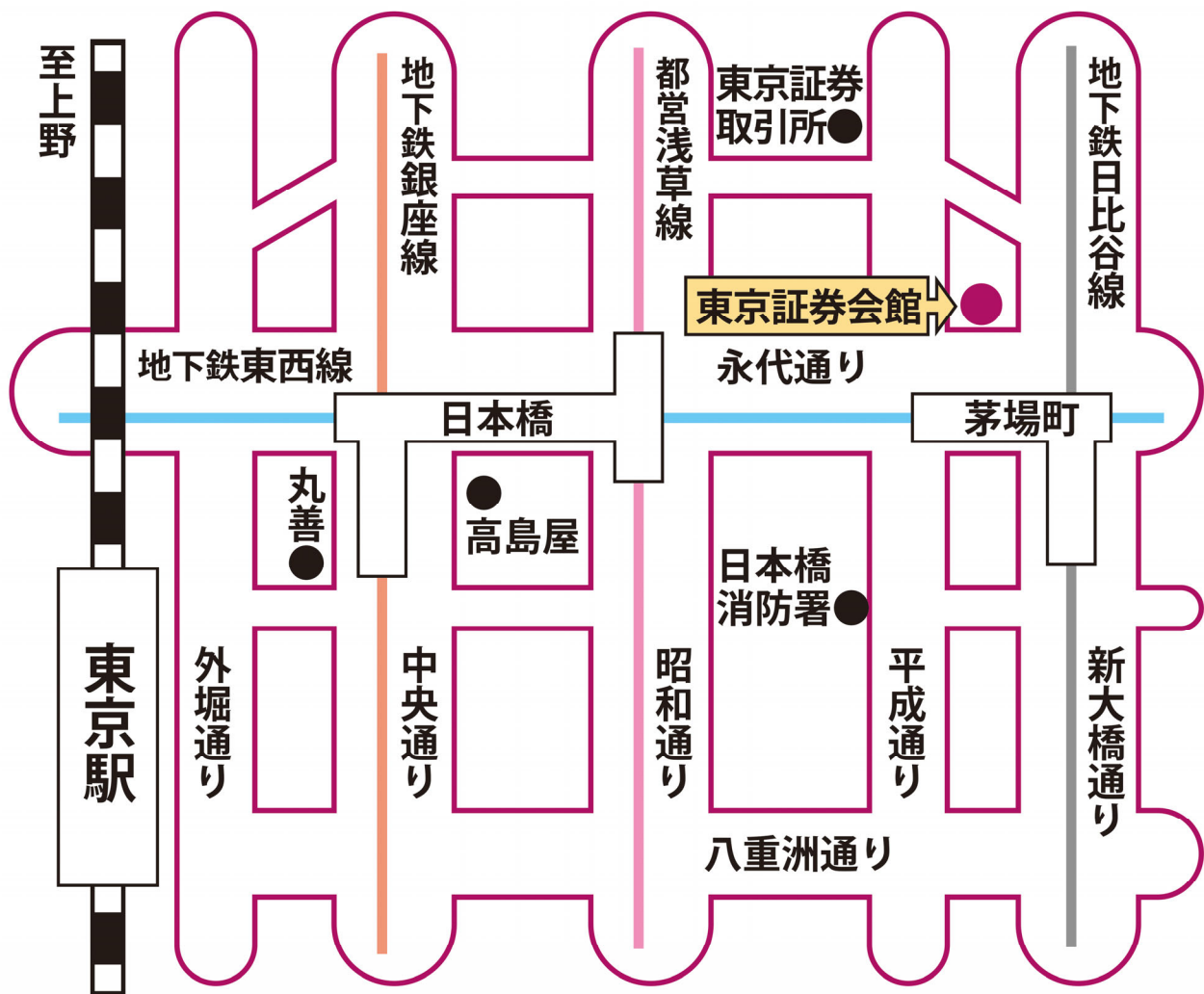
東京都新宿区山吹町358-5

アカデミーセンター

TEL. 03-6824-9367

FAX. 03-5227-8632

E-mail. [jcs-semi@conf.bunken.co.jp](mailto:jcs-semi@conf.bunken.co.jp)



■東京メトロ 東西線・日比谷線 茅場町駅8番出口直結

■東京メトロ 銀座線・東西線、都営浅草線 日本橋駅

■JR 東京駅 八重洲北口 徒歩10分

D2出口 徒歩5分